

庁議の概要

開催日 平成 20 年 10 月 20 日 (月)

項 目

- 1 平成 21 年度当初予算編成方針について【総務部】
- 2 平成 20 年度の高知競馬の運営状況等について【農業振興部】
- 3 子ども虐待防止オレンジリボン運動支援と虐待防止 P R 等のためのオレンジリボンの着用について
【健康福祉部】
- 4 各部局等の動向について【各部局等】

内 容

- 1 平成 21 年度当初予算編成方針について【総務部】
総務部より、平成 21 年度予算編成方針に関する資料を配布し、概要説明のうえ意見交換を行った。

【概要説明】

- ・ 予算編成の基本的な考え方の一つ目の柱として、産業振興計画の実効性ある取り組みによる「経済の活性化」をはじめ、「5 つの基本政策」に基づく事業の着実な実施を図るための新たな推進重点枠として、21 億円を確保していきたい。
- ・ また、予算の質的転換による推進重点枠への加算制度の創設ということで、義務的な経費について各部局で見直しを実施してもらい、そこで削減できた経費については推進重点枠へ加算していきたい。
- ・ 二つ目の柱として、県民サービスの向上と財政の健全化の両立を目指すということで、投資的な経費についてはゼロシーリング、経常的な経費については 3%のマイナスシーリングをかけていきたい。
- ・ 三つ目の柱として、財政の健全化に当たっての視点ということで、P D C A サイクルの徹底による財源不足額の圧縮、議会での議論や「対話と実行」座談会などにおける県民の意見を踏まえた事業の見直し、県債残高の抑制、中長期的な財政収支の好転を重視してもらいたい。
- ・ 従来の削減困難経費の区分は廃止し、経常的経費へ組替えを行い 3%シーリングをかけることにしている。ただし、アウトソーシングの経費とか、指定管理者への管理代行料のようなものは、相手方の賃金を下げることにもなるので、積み上げするようにしていきたい。
- ・ 従来の財政課の協議加算、政策協議加算といった加算措置については、基本的に見直しをする。
- ・ 予算編成の主なスケジュールとして、今回新たに、各部局の予算見積概要について、知事レクを考えているので、そのための準備をお願いしたい。

【主な意見】

- ・ 財政の健全化に当たっての四つの視点を重視するのうち、議会での議論や「対話と実行」座談会などにおける県民の意見を踏まえた事業の見直しというのは、部局側からの視点か、それとも県民側からの視点なのか。県民の方々の目線で、見直しをしてもらいたいという意見が出たものについては、当然、各部局で十分に検討してもらい、見直しすべき部分については見直しのうえ、予算要求をしてもらいたいということである。
- ・ 近年にはない重点枠の創設という説明があったが、財政収支見通しを一定想定して目途がついているということか。

先般、お示した今後の財政収支の試算(平成 20 年 7 月)での見通しの基金残高を下回らないように、歳入、歳出について見直した結果、21 億円という重点枠ができたということである。

今の時代、中長期の財政収支の見通しということも重要なことなので、それを見たとえで、今のところ最大限に確保できるところまで積み上げたものが、21億円ということである。(知事)

- ・ 財政の健全化に当たっての視点といった場合に、議会での議論や「対話と実行」座談会などにおける県民の意見を踏まえた事業の見直しというのは、予算編成の視点ということなら分かるが、健全化の視点というのは違和感がある。

今回の予算編成自体が、財政の健全化を目指しているということを書いたかったため、このような表現になった。

- ・ 質的転換による推進重点枠への加算は、推進重点枠に充てないと駄目という考え方か。例えば、部全体の予算として活用できないのか。

重点枠として、できるだけ多く確保できないかといった時に、義務的な経費についても各部局で大胆に見直しをしてもらい、そこで削減できた経費については、推進重点枠へ加算していきたいというものである。

- ・ 産業振興計画の実効性ある取り組みによる「経済の活性化」をはじめ、「5つの基本政策」に21億円ということだが、21億円ぐらいでいけるという見通しがあるのか。

今の段階で、どれぐらいの規模になるかまではつかめていない。

21億円で、総事業ベースで4倍から5倍の100億円ぐらいになると考えている。過去、類を見ないぐらいの規模でやっていくということになる。できれば、1億円でも2億円でもさらに積み増しをしていきたいと思っている。中長期の財政を危険にさらすこともできないので、中長期的な安全性が確保できる範囲内で試算してきた結果が21億円であり、今の段階では、ここまでしかできないとしか言いようがない。(知事)

- ・ 政策調整会議でも説明したが、21億円の事業にならないように、東京事務所と一緒に、国庫補助制度の情報収集も行い4分の1とか、2分の1の県費で事業ができるように検討すること。機能的な財政運営ができるような知恵を働かせたり情報収集をやって欲しい。(副知事)

- ・ 産業振興を含めて5つの基本政策といったときに、産業振興維新21というテーマでは、産業振興のために21億円という印象を受けるのではないかと思うがどうか。

他の仕事もしながらも是非、産業振興という視点を入れて考えてもらいたい。産業振興計画を策定する当初から言っていたことだが、是非お願いしたい。一石二鳥、三鳥になるような施策を考えないとやっていけない。(知事)

- ・ 12月5日の当初予算見積概要の公表の時に、安堵感とか、希望というものを県民にもたすため、予算見積概要の知事レクの時に、もうひと工夫ということで、各部局に一日、二日で手直ししてくれということがあり得る。また、「今までこういう施策を打ってきたけれども、こういう理由でこういう成果にしかつなげてない。その反省を踏まえてこうする。それによって、生産や雇用がどう拡大する」というようなことを、それぞれの資料の中でバックデータとして、きちっと説明できるように知事レクの時には準備してもらいたい。(副知事)

- ・ 産業振興計画の関係では、中間とりまとめを具体化していくという作業の中で、各部とお互い情報交換させてもらおうとよいと感じている。知事レクだけというより、むしろ、そういう形にしてもらった方がよいかもしれない。地域アクションプランの動きも踏まえながら、随時、修正することも出てくると思うので、そういう感じでやっていければと思う。(知事)

2 平成20年度の高知競馬の運営状況等について【農業振興部】

農業振興部より、平成20年度の高知競馬の運営状況等に関する資料を配布し、概要説明のうえ意見交換を行った。

【概要説明】

- ・ 高知競馬は、今年の4月から10月5日までの時点で47,844千円の黒字となっている。
- ・ ただ、平成20年度は、競馬関係者が懸命の経費削減等を行い、約2億5千万円の財源対策を行ったうえで始まっていると考えてもらいたい。
- ・ 約半年が過ぎて、47,844千円の黒字なので、後半年で約1億円の黒字にはなるのではないかと考えている。1億円の黒字になったとしても2億5千万円で出発していることから、実質1億5千万円の赤字だということになる。
- ・ 高知競馬については、当然、来年度も存続をさせていかないといけない。できるだけ多くの黒字、できたら、2億5,000万円の半分の1億2,500万円くらいまでは黒字へ持っていきたい。そうしないと、存続というものの可能性というものが、徐々に小さくなっていく。47,844千円の黒字を発表もさせてもらったが、これは安閑としていれる数字ではないということ理解をしてもらい、今後とも協力、ご支援をいただきたい。

3 子ども虐待防止オレンジリボン運動支援と虐待防止PR等のためのオレンジリボンの着用について

【健康福祉部】

健康福祉部より、子どもの虐待防止オレンジリボン運動支援と虐待防止PR等のためのオレンジリボン（ピンバッチ）の着用についての提案の説明があった。

4 各部局等の動向について【各部局等】

政策企画部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布のうえ、各部局等より概要説明があり、意見交換を行った。